

NSスマート検査路

高強度ステンレス製検査路



経済性・品質・安全性の向上

本製品は使用材料をステンレス鋼とし、主要強度部位に二相系ステンレス鋼を使用した検査路です。

耐食性・リサイクル性の向上、薄型軽量化が図られ、経済性・品質・安全の向上が期待できます。

ステンレス鋼製なので高強度

検査路の材料を「亜鉛めっき処理をした鋼製」から「ステンレス鋼製」としたため、不動態被膜の自己修復機能により、表面が摩耗しても耐食性が維持できます。また、溶接割れ感受性が低いため、予熱・後熱は不要であり溶接性に優れています。

優れた防錆力により長寿命

海岸沿岸部での塩害地域や凍結防止剤散布地域などの腐食環境の激しい地域でもメンテナンス不要で長寿命を実現しました。橋梁上部工・橋梁下部工の検査路、河川構造物の点検路などに適用できます。

断面欠損が少なく高安全性

梁・上部手摺・支柱などの主要強度部位にリーニ二相系ステンレスを使用する事で、腐食による断面欠損を抑えられます。

リーニ二相系ステンレスとは

オーステナイト相とフェライト相の金属組織からなる二相系ステンレスの内、Ni含有量が低く、Moをほとんど含まない安価なステンレスです。2015年9月、SUS 821L1としてJIS化されました。

各部位で強度確認をおこなっています。特に手摺では「道路橋検査路設置要領」に基づいた衝撃試験をおこない、その安全性を確認しています。



手摺衝撃試験

曝露試験

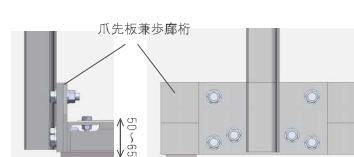
静的載荷試験

薄型・軽量化を実現

爪先板と歩廊桁を兼用した設計とする事で、薄型・軽量化を実現しました。その結果、検査作業空間を広く確保する事ができ、従来品と比較し5~10%程度の重量削減が可能です。



【従来検査路】溶融亜鉛めっき製



【高機能軽量検査路】ステンレス製

